

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公表番号】特表 2019-526833 (P2019-526833A)

【公表日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報 2019-038

【出願番号】特願 2019-510891 (P2019-510891)

【国際特許分類】

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

G 0 2 B 7/04 (2006.01)

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 17/02

G 0 2 B 7/04 E

G 0 2 B 7/02 Z

H 0 4 N 5/232 4 8 0

H 0 4 N 5/225 1 0 0

G 0 3 B 5/00 J

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 21 日 (2020.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の形状記憶合金光学画像安定化 (optical image stabilization、O I S) カメラであって、

( 1 ) 単一ベース部、( 2 ) 単一遮蔽カン、( 3 ) 単一 A F ベース部、及び ( 4 ) 単一 O I S 組立体のうちの 1 つ以上を含む、ベース部、O I S 組立体、A F 組立体、及び遮蔽カンを含むタイプの複数の形状記憶合金光学画像安定化 ( O I S ) カメラ。

【請求項 2】

前記単一 O I S 組立体は支持部材と可動部材とを含み、前記支持部材と前記可動部材との 1 つ又は両方は単一ベース層を有する、請求項 1 に記載の複数のカメラ。

【請求項 3】

前記可動部材は、2 つのばねアーム部とクリンプのような 4 つの S M A ワイヤ取付構造とを有する、請求項 2 に記載の複数のカメラ。

【請求項 4】

それぞれが複数の形状記憶合金ワイヤを含むとともに、オートフォーカス組立体を受け入れるように構成された、複数の光学画像安定化組立体と、

前記複数の光学画像安定化組立体を支持するように構成されたベース部とを含む、カメラレンズ組立体。

【請求項 5】

前記複数の光学安定化組立体のそれぞれは支持部材と可動部材とを含む、請求項 4 に記

載のカメラレンズ組立体。

【請求項 6】

前記複数の光学安定化組立体はワンピースの支持部材を共有する、請求項 4 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 7】

前記複数の光学安定化組立体はワンピースの可動部材を共有する、請求項 6 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 8】

前記ワンピースの支持部材は共に接合された複数の構成要素から形成される、請求項 6 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 9】

前記ワンピースの可動部材は共に接合された複数の構成要素から形成される、請求項 7 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 10】

複数のオートフォーカス組立体をさらに含む、請求項 4 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 11】

前記複数のオートフォーカス組立体は、単一オートフォーカスベース部を使用して前記光学画像安定化組立体に取り付けられている、請求項 10 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 12】

複数の遮蔽カンをさらに含む、請求項 10 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 13】

前記複数の光学画像安定化組立体のそれぞれと前記複数のオートフォーカス組立体のそれぞれとの少なくとも一部を覆うように構成された単一遮蔽カンをさらに含み、任意的に、前記単一遮蔽カンは共に接合された複数の構成要素から形成される、請求項 10 に記載のカメラレンズ組立体。

【請求項 14】

前記複数のオートフォーカス組立体は、SMAアクチュエータを使用して動きを生成するように構成される、請求項 10 に記載のカメラ組立体。

【請求項 15】

前記単一遮蔽カンは、前記複数のオートフォーカス組立体の少なくとも 2 つの間に配置された壁部を備える、請求項 13 に記載のカメラ組立体。